

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 35 号
R1. 5. 28

家庭学習ノート1号突破



令和元年度初の家庭学習第1号を終了したのは、1年2組のM・Uさんです。2ヶ月足らずで家庭学習ノートが終了したわけは、Uさんの勉強法にあります。彼女の学習法は、ノートに書いて記憶する方法なのです。

他の4教科も90点以上の高得点とのこと。これだけの点数をとれば、勉強にも意欲が湧き、やりがいもありますね。将来は、今のところ保育士をめざしているそうです。彼女にとって家庭学習ノートは、学習の跡が残せて、成果も上がる必要アイテムになっています。自分の可能性をさらに伸ばしてほしいと願います。

実習スタート



教育実習が5月27日(月)から始まりました。本校には、名桜大学より2名の実習の先生が来校しています。

人間健康学部スポーツ健康学科4年生、N・S先生、H・Y先生です。S先生は広島出身、野球部、H先生は宮崎出身、バレー部です。

お二人は、保健体育の授業、参観の他、学級経営や道徳、給食・清掃、部活動等にも参加しながら、教師の仕事体験・実習を進めていきます。6月14日まで。よろしくお願いたします。

道徳「心の記録」



考え議論する道徳へ。授業で、生徒がワークシートに考えて書いた言葉を随時、紹介していきます。道徳「心の記録」を見える形の言葉で伝えていき、考え議論していけるよう期待しつつ。

小さな赤ちゃんから学んだ命の大切さ

今、私達が当たり前のように過ごしている毎日を当たり前に過ごせていない人達がいる。生きたくても生きられない人がいる。

私達はその人の分まで幸せで充実した日を送り、神様の元へ行った愛心ちゃんに分けてあげたいと思いました。

当たり前のことを大切にしたいと思いました。他の人の当たり前の幸せの時間を奪いたくないとも思いました。

今回の道徳の授業で、人を愛すること、そして、生命の尊さを感じることができました。

2年3組 A・Y さん